
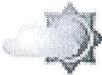






















業種別景況予測

平成24年1月～3月

						
	特に好調	好調	まあまあ	やや不振	不振	きわめて不振
部会	10～12月 (実績)	1～3月 (見通し)	概況			
寝装 リビング			震災特需毛布はあと1年は需要があり、業者は忙しい様子だが、その後が心配であるとの声あり。また一方では、大きな変化はないが、後半には震災復興の効果が出ると考えているので、少しは良くなると思われる。			
繊維 ファッション			全体像は厳しいが、次の一手を常に考えて実行して行き、その中で特化されたモノのみが評価されているのではという声あり。小売での消費量は依然として伸びていない。百貨店で前年対比プラスとあるが、これは増床効果とバーゲンセール早期化で需要そのものが拡大ではなく、早晚市場では、過剰感が出てくるのではとの懸念する声あり。			
工業			「政治と原油の挙動が気がかり」「円高のため輸出契約できない」「震災の影響で仕入れの入荷が遅くなった資材もあった」「円高は原材料の輸入、製品出荷で相談できる部分もあるが、ドルに限った話で、ユーロで輸入する原材料がないので、ユーロに対する円高は苦しい」などの声が寄せられた。			
建設			災害復興地に対する建築資材の調達のためか、品薄気味である。加工工賃については今のところ影響は少ない。住宅リフォーム等に多少の動きはみられるものの、総じて鈍い状況である。前期の低調状況がずっと続いている感じである。廃業する業者が今後増加すると思うので、今後さらなる努力が要求されるであろうとの見方あり。			
運輸倉庫			大きな影響はないが、全体に消費動向が悪く、荷動きが停滞気味で24年度の状況も不明であり、景況感としては悪化を予測。最近の業界は荷動きも悪く、運賃水準の下落・燃料価格高騰など厳しい経営環境から運送事業者は減少傾向にある。インターネット通販事業者が主な取引のうえ、安定した顧客があり、収入的には増加傾向の声も。			
金融理財			震災以後、高齢者を中心に遺言公正証書を作成される方が増えてきている。テナントに、飲食店が入っているが、震災直後は宴会のキャンセルが相次ぎ、そのまま客足の戻りが悪く、苦しうで、家賃も遅れ気味で毎月家賃が入るか心配との声あり。			
一般商業			総合スーパーは苦戦。食品スーパーマーケットは堅調な業績で推移している様子。円高は非常に厳しい。福島県産商品の仕入れ価格は下がっているが、消費者に受け入れられるにはまだ時間がかかりそう。			
サービス業			ペットショップからは同種の店が増える一方で人材不足のため厳しい様子。理容業界は、「来店サイクルを伸ばしたり、カットは家庭でもできるので客はかなり減少している」。旅行業界からは「会社等の団体旅行の減少、個人旅行はインターネットで予約が増えている」とのコメントあり。辛抱しながら景気の上向くのを待つという声もあり。			

(調査概要) ●調査実施 平成24年1月 ●調査対象企業 249社 ●回答数101社
 寝装リビング 18社 工業 22社 運輸倉庫 11社 一般商業 7社
 繊維ファッション13社 建設 9社 金融理財 7社 サービス商業 14社

管内企業をとりまく諸条件を考慮し、各企業が「景況」をどのように予測しているのかについて、継続的に調査し発表しています。調査は、四半期毎にとらえており、通常のシーズンの動向をまとめました。この「景況予測」が「結果」と比べてどうであったか、また、各々の業界対策・企業経営の一つとして、参考にしていただければ幸いです。

～調査機関～ 泉大津市田中町10番7号 泉大津商工会議所 経営支援部 TEL 0725-23-1111